



自然とあそび、  
豊かな人格を育てる。

# Takagi Nursery School

入園案内



社会福祉法人双星会  
高木保育園

〒791-8007 愛媛県松山市高木町 252 番地  
TEL 089-979-0172 FAX 089-979-6269  
(お問い合わせ時間：平日 7:00 ~ 19:00 土曜日 7:00 ~ 18:00)



社会福祉法人双星会  
高木保育園

# 子どもを真ん中に。 「まち」のコミュニティと ともにある保育を。

高木保育園は、子どもを真ん中にした、地域ふれあいの場コミュニティ拠点です。子どもたちを囲むように、家庭と、保育者がいます。子どもも、大人も、ここで、共に育ち、学び、共に生活しています。ご家庭の状況にかかわらず、すべての子育て世帯が「笑顔」で繋がれること。その実現のために、お互いの違いを認め合い、尊重し合い、助け合いのできる「三つの空間」(コミュニティ)を用意しています。



## 「高木保育園」

6ヶ月～年長児までの子どもたち120名以上を日々お預かりする「高木保育園」本園の空間です。子どもの姿から保育がはじまり、保育士、看護師、給食スタッフ等、園全体のスタッフの考え・アイデアを集結して、中心的な保育を展開していきます。

## 3つの空間

「一時預かり事業  
ベリーさくら組」・  
「病児・病後児保育事業  
Takagi AID+」

短期的に、保護者の就労支援や  
病児ケアでご家庭を支える空間です。

地域子育て支援拠点事業  
「レインボールームたかぎ」

すべてのエリアの未就学児とご家庭を受け入れるとともに、子育て中の仲間同士が共に育ちあう空間です。まだまだ発展途上の部分もあるかもしれません。

互いに学び合い、対話しながら、高木保育園の文化を一緒に作ってくださる方との出会いを楽しみにしています。



## フラットな関係性/対話の文化

高木保育園は、日常的な異年齢児保育を「チーム保育」という考え方で行います。チーム保育とは、担任という枠にとらわれず、クラスを超えて園全体で子ども真ん中保育を支えていくものです。全員が「フラット」な関係性の中で、子どもも大人も対話的に進めていくことを大事にしています。日頃から「こどもかいぎ」で子ども同士が対話しているように、子どもたちを見守っている保育者や保護者、地域の意見や考えを尊重した全員チームであることを目指しています。

## 働く人も心地よく、自分らしくいられる場、学びの多様性

私たちは、子ども一人ひとりの可能性や個性が発揮される環境をコミュニティ全体でつくっていますが、保育者自身にとっても、心地よく、自分らしくいられる場でありたいと考えています。一人ひとりが心身ともに充実していることが、結果として、子どもたちにも還元していくと考えています。

保育の仕事は複雑で、高い専門性が求められます。最も重要なことは、日常の対話における、子ども・保育者の共有です。実践から保育についての学びを深めることが一番の気づきとなり、成長機会につながることを経験しています。その上で、園内外で保育を学んだり、それぞれの保育者が自身の興味に沿った学びを深められるよう、様々な機会をつくっています。これからは良質な保育を提供できるよう、保育者自らアップデートしていきます。

## 高木保育園の子育てストーリー

### 「あったか家族がいいね！ 子育てをもっと楽しく！」

親と子、ご家庭と保育園が“ステキな家族”にかな楽しい時間になっていきます。それを全員が肯定することから始まります。思うからこそ、泣いても笑ってもケンカができることなのでしょう。

子どもたちが大人へと成長する過程で、「自立」するための基礎体験を高木保育園で学んでいきます。五感や喜怒哀楽の感情、興味があることへ主体的な経験を通じて、乳幼児期にこそ育みたい「生きる力」と「非認知能力※」の基礎を身に付けることができます。

私たち大人が今できることは、保育環境や家庭環境を整え「子どもたちの幸せとはなにか」を問い続けることです。それは、子ども自身が考え選択できる環境を用意し「今の瞬間」を満足のいくまで一歩ずつ生懸命に生きることなのです。そうすることによって、子どもたちは目を輝かせながら「やる気」スイッチが入り、モチベーションが飛躍的に向上していくことなのでしょう。

20年後、子どもたちが「自立」して活躍していることを心から願っています。

高木保育園がご提案する非認知能力の獲得 = これからの時代に必要な学び =

### レジリエンス力

- 回復力・復活力・失敗しても立ち直る力・トライ&エラー・試行錯誤
- 興味のあることで苦勞したり失敗してみることが大切
- ボードゲーム・パズル・積み木・運動あそび等

### 課題発見力と問題解決力

- なぜ? どうして? どうしたらいい? 自分だったらどうする? が大切
- 主体的な調べ学習等

### 自分の考えを言う力

- 自分はこう思うと意見が言える力
- こどもかいぎ等

### 自己責任力

- 人や物や環境の責任にしない思考力
- 自分には何がたりなかったのか考える等

### チャレンジ力

- 今までやったことのないことにチャレンジしてみる力

### 論理的思考力

- これはこうだからこうなるよねという思考力

### 行動する勇氣

- まわりのみんなと意見が違っても、自分の思いを実現するために行動できる力

# 高木保育園について

## 保育方針

高木保育園は子どもたちが安心して過ごせるよう、保育士が穏やかに温かく見守りながら、子どもたちの豊かな成長を支援します。

## 「遊び＝学び」

キーワードは「冒険!」「探検!」「発見!」

- 子どもたちは、保育園内・園庭・園外の様々な興味のある遊びを通じて自分自身や周りの世界を知り、実体験することによって学んでいきます。
- 保育士は、その子どもたちの興味や関心に合わせた活動を提供し、子どもたちが自分で考え主体的に行動する力を引き出すように支援します。
- また毎日の給食や食に関する活動を「食育」として捉え、食を通じて発見した知識から学び、心身ともに健康な体作りを考えていきます。

この保育方針に基づき、

私たちは「見守り保育」「遊び＝学び」「主体的な活動」を大切にし、常に「子どもにとってどうか」という視点で保育をしていきます。

## 開園時間について

月曜日～金曜日 通常保育 午前 7:00～午後 6:00

延長保育 午後 6:01～午後 7:00 (有料)

(短時間保育は 8:00～16:00 で利用できます。時間外は延長となります。)

土曜日 通常保育 午前 7:00～午後 6:00 (要証明書)

延長保育 実施していません

休園日 日曜・祝祭日 年末年始(12月29日～1月3日)

あっ!  
いいものみ～つけた!



高木保育園を  
360°カメラで探索!

360°  
園内ツアー

保育園 HP からご覧いただけます!



## 登園について

- 朝 9 時 00 分から集団活動が始まります。この時間までに登園してください。また欠席や遅れる場合は 9 時 00 分までにアプリでお知らせ下さい。TEL 979-0172  
なお、9 時 00 分までにご連絡がない場合は、園児の安全確認のため高木保育園からご連絡させていただきます。
- 送迎は第一保護者(ご両親)または第二保護者(ご両親からお願いされている方)が責任をもって頂き、万一の事故防止のため、園児だけで登園することのないようにお願いします。
- 園児を必ず保育士に預けるようにして下さい。その際に、園児の健康状態(その日の心身の状態や体温の異常)や外傷の有無・薬の所持等がある場合にはお伝え下さい。
- 早退や延長保育の申出は保護者の方から直接お知らせ下さいませようお願いします。(電話連絡可)
- 南門や中門の扉は飛び出し事故防止のためきちんと閉めましょう。毎日早寝早起き等規則正しい生活を心掛け朝食・用便をすませてから登園する習慣をつけましょう。

注意!!  
貴重品は外から見えない所において、お車の鍵は必ずロックしましょう!



詳細内容は  
ホームページでも  
ご確認ください

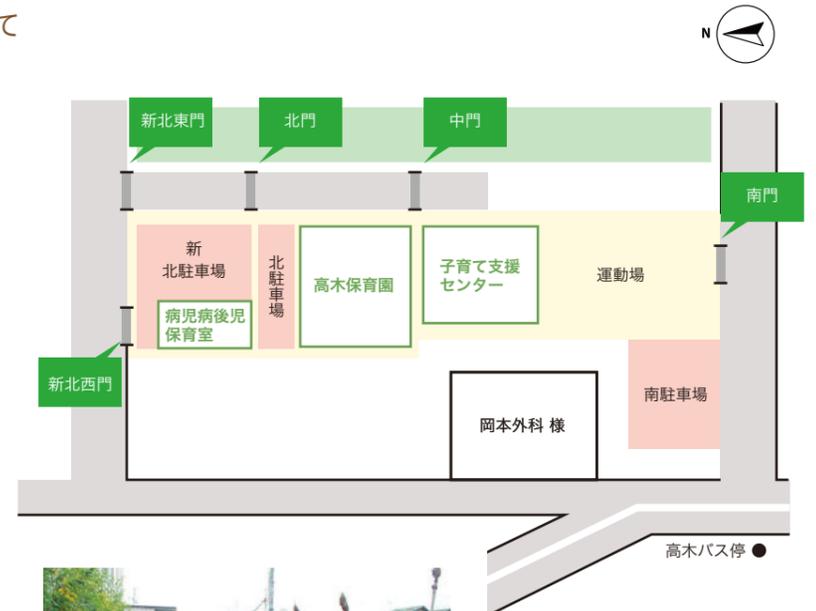
## 降園について

- お迎え時間がいつもと違う場合は、あらかじめお知らせ下さいませようお願いします。
- 保護者以外のお迎えは、事前に連絡をして下さい。(不審者防止対策)  
※連絡がない場合ご両親に確認させていただきます。
- 午後 6 時までにお迎えが困難な場合は延長保育の申請をお勧めします。



## 送迎時の駐車場について

- 車での送迎は高木保育園新北駐車場を利用できます。
- 自転車やバイクは指定場所に駐輪して下さい。(高木保育園南側の道路は駐車禁止区域となっております。個別の駐車違反等には当園で責任を負いかねます)
- 送迎ラッシュ時は大変危険です。園児の飛び出し等危険防止のため、中門は必ず閉めて下さい。また、お車の乗車等には特にご注意下さい。(降園後の事故等には当園で責任を負いかねますので特にご注意下さい)



新北駐車場



北駐車場

# 延長保育・土曜保育について

## 延長保育

延長保育時間は午後6時～午後7時までです。(短時間保育は表のとおり)

延長保育は月曜日から金曜日まで毎日利用できる「月極め型」とその日だけ残業や所用がある場合の「日割り型」の2種類があります。

月極め型	日割り型	短時間認定・延長保育
<b>利用日</b> 月曜日から金曜日	<b>利用日</b> 月曜日から金曜日	<b>利用日</b> 月曜日から金曜日
<b>利用時間/利用料金</b> PM6:01～7:00 3,000円/月	<b>利用時間/利用料金</b> 18:01～18:30 200円/30分 18:31～19:00 200円/30分	<b>利用時間/利用料金</b> 7:00～7:59 200円/30分 16:01～19:00 200円/30分
<b>対象年齢</b> 1歳以上	<b>対象年齢</b> 1歳以上	
<b>必要なもの</b> 延長保育申請書		

- 「月極め型」を希望されるご家庭は延長保育申請書を提出して下さい。利用料金は月末締、翌月10日に徴収させていただきます。
- 「日割り型」は在園されているすべての園児が利用可能です。お迎え時刻を保護者の方が記録してください。延長保育が必要な日には当日の午後6時までにご連絡下さい。ご連絡がない場合には午後6時からおやつまでの時間とさせていただきます。おやつが必要ない方はお申出ください。なお、おやつのいらない場合でも同料金となります。
- 平日は午後7時以降（閉園後）の延長料金は30分毎500円となります。(土曜日は午後6時以降) 1歳未満児の延長保育はありません。(緊急時は18:01～18:30/18:31～19:00 30分500円)

ご不明な点は職員までお問い合わせください。

## 土曜保育

**保育時間** 午前 7:00～午後 6:00 (要申請・無料)

**利用希望に必要なもの** 面接/土曜保育申請書/両親の勤務証明書またはそれに代わるものの証明書

- 土曜保育はご両親の就労やその他やむを得ない事情等によりご家庭を支援するための保育です。(担任申込)
- 午後3時におやつを用意しています。
- 利用希望のご家庭は土曜保育申請書を提出して頂き、簡単な面接を行いますのでご協力下さい。



詳細内容はホームページでもご確認ください

## 保育料について

- 松山市保育料は金融機関等口座引落にて行います。各自の金融機関でお手続きをして下さい。
- 引落日は毎月25日です。やむを得ない事情でその月に納められない場合、又は口座引落を希望しない場合は必ずお申し出下さい。
- また特別な理由もなく滞納が続いた場合は、松山市役所より入園が解除される場合がありますのでご注意ください。

## 家庭連絡について

当園ではご家庭と連絡を密にすることで、保育園と家庭との保育観を一体的なものとし、保護者と担任が子育てについて話し合い、具体的な保育の方向を確認しあうこととしています。連絡手段の例を下記に示しております。

クラスの様子	ホームページブログに掲載致します。活動の様子を是非お楽しみ下さい。
個人連絡	担任からの連絡事項やメッセージ、お子さまの成長状況、日々の出来事等を電子連絡アプリでお知らせします。またご家庭からの連絡事項、お問い合わせ事項、疑問・質問、子育て相談等をお気軽にお知らせ下さい。3歳以上児は成長にあわせて自分でその日の出来事を言えるようになります。
お知らせ配信	プリントにかわり、直接保護者の携帯電話にお知らせを配信致します。行事やその日の状況をメールでお知らせしますので、各種のお知らせを速報でお伝えします。
掲示板	玄関掲示板で各種催し物のお知らせ、流行病気、注意事項等のお知らせを掲示しています。

## 変更届について

ご両親の勤務先、住所、電話番号、世帯状況（出産等）に変更があった場合には、速やかに担任までお知らせ下さい。変更届を提出して頂きます。変更の際には各種証明書等を提出して頂く場合があります。

# 園の生活について

## お昼寝

もも組・こすもす組・たんぼぼ組・ちゅうりっぷ組までは年間を通じてお昼寝をします。

ひまわり組・すみれ組は、個人差に合わせてお昼寝を選択できます。

**ひまわり組・すみれ組**  
お昼寝は就学前保育を考慮しながら個々の状況に応じて「選択制」となります。  
(すみれ組は運動会後から選択制)  
※お昼寝が必要ない場合は午後活動を行います。

- 入園年齢によりコット（簡易ベッド）を使用します。コットカバー・掛布団等をご準備下さい。
- 布団の大きさの目安（掛布団 85cm×110～120cm 敷布団 75cm×110～120cm）  
※土曜日は土曜保育申込の方のみお昼寝をします  
※お昼寝にパジャマは使用せず、「避難できる衣服」となりました。
- 毎月末の金曜日にはお布団を持ち帰り、洗濯・日光消毒をお願いしています。
- 布団の持ち運びは布団袋を用意して下さい。



詳細内容はホームページでもご確認ください



## 給食

自然栽培法のとれた野菜を使用

愛媛県産を主食材に取り入れ、バランスのとれた安心の給食を提供します

子どもたちの農業体験、食育活動などを通じて、子どもたちの感性を育みます

もも組・こすもす組・たんぼぼ組は年間を通じて完全給食を実施します。完全給食とは朝のおやつ・昼食（主食・副食）・午後3時のおやつが保育料に含まれています。

ちゅうりっぷ組・すみれ組・ひまわり組は昼食と午後3時のおやつが副食費に含まれています。本来なら昼食に主食をご持参いただきますが、園児たちにあたたかいできたてのごはんを提供するために主食サービスを実施しています。

※アレルギーのあるお子様には、保護者、担任、栄養士で相談しながらすすめていきます。



## 持ち物について

### もも組・こすもす組・たんぼぼ組（6ヶ月～36ヶ月）

もも組・こすもす組・たんぼぼ組の保育は、6ヶ月～36ヶ月の月齢を目安にお子さまの成長発達をみながらすすめていきます。その都度、持ち物の変更をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いいたします。ご家庭と保育園で一緒に子育てをしていきましょう！

- 荷物袋**  
保育園の指定はありませんが、身体にあったしっかりしたもので口が開かないもの（チャック付等）を準備して下さい。  
たんぼぼ組はリュックをご用意下さい。
- 出席シール帳**  
たんぼぼ組から毎日持ってきてください。
- 連絡事項**  
電子連絡帳を使用します。

**食事について**  
もも組からたんぼぼ組は月齢にあわせて自分で食べようとする意欲を大切にして楽しい食事を促します。発達に合わせて専用スプーン・フォークを使います。お子さまの様子を見ながらはしの練習を始めます。(スプーン・フォーク・はしは保育園で用意致します)

- 食事前エプロン**  
6ヶ月～1歳11ヶ月は一日2枚、2歳は一日1枚持参して下さい。(ジッパー付きナイロン袋に入れてご持参下さい)
- 歯ブラシとコップ**  
たんぼぼ組から食後の歯磨きをします。乳歯の虫歯はあごの発達や脳の発達に影響を及ぼします。幼い頃からの歯磨き習慣を！
- 哺乳瓶**  
ミルクを飲む園児
- スモック**  
スモックはたんぼぼ組からご用意下さい。
- おむつ**  
排尿排便には随時おむつ交換を行います。1日に最低7枚持参して下さい。おむつ一枚ずつ名前の記入をお願いします。  
「おむつ定額サービス」選択可。  
おむつの処分は保育園で行います。
- 布団一式**  
月末金曜日に持ち帰り、洗濯して下さい。夏はタオルケットをご用意下さい。  
もも組・こすもす組は子ども用コットを保育園で用意します。
- 着替え**  
クラス担任と相談し上下とも必要枚数を保育園に据置きして下さい。(3セット)  
※着替えが不足した場合は園の着替えをご購入頂きます。

次の消耗品は保育園で用意します。 ナイロン袋(おむつ使用者の汚物入れ)/ウェットティッシュ/おしりふき/ボックスティッシュ

### ちゅうりっぷ組（3歳児）・すみれ組（4歳児）・ひまわり組（5歳児）

集団生活の中で自立に向けて生活します。持ち物には名前を書き、目印など自分のものがわかるようにしましょう。この時期に生活習慣・生活態度を身につけることがとても大切です。ご家庭と保育園が一体となって子どもたちを見守っていきましょう。

- 通園リュック**  
保育園の指定はありません。身体にあったしっかりしたもので口が開かないもの（チャック付等）を準備して下さい。
- 名札**  
毎日スモックにつけておきます。
- 出席シール帳**  
毎日持参して下さい。自分でシールを貼ります。

**食事について**  
保育園で発達に合わせた年齢別のはしを用意致します。

- スモック**  
年間通じて保育園の活動ではスモックを着用します。夏用は6月～10月 冬用は11月～5月※ご購入は担任までお知らせください。
- 歯ブラシ**  
食後の歯磨きをします。乳歯の虫歯はあごの発達や脳の発達に影響を及ぼします。幼い頃からの歯磨き習慣を定着させましょう。
- コップ・歯ブラシコップ用巾着袋**  
うがいや歯磨きに使用します。割れにくいものを準備して下さい。(歯ブラシとコップは毎日清潔にして巾着袋に入れて持たせて下さい)
- 着替え・着替え用巾着袋**  
着替え上下とパンツ、肌着と靴下を各2セットずつ巾着袋に入れて保育園に据置きして下さい。※着替えが不足した場合は園の着替えをご購入頂きます。
- 布団一式**  
お昼寝をする園児はお布団を用意して下さい。月末金曜日に持ち帰り洗濯して下さい。夏はタオルケットをご用意下さい。
- うわぐつ・うわぐつ袋**  
うわぐつ袋(巾着袋でも可)に入れて、金曜日に持ち帰り、月曜日に持参して下さい。(ひまわり組・すみれ組・ちゅうりっぷ組)

次の消耗品は保育園で用意します。 ナイロン袋(汚れた衣類入れ)/ボックスティッシュ

# 病気について



当園の方針として、お子さまの発熱が37.5度以上ある場合には、まず一番に保護者にお知らせすることとしています。  
また発熱はなくても、下痢や嘔吐がみられたり、顔色がわるい、いつもと違って元気がない、ぐったりしている等の症状でもご連絡致します。  
なお、緊急時には保護者の承諾を得て保育園から嘱託医へ直接受診できるような体制を整えています。

個別にかかりつけの医師がいる場合はあらかじめお知らせ下さい。

- ご家庭から病院の薬を持参する場合は、与薬依頼申請書を提出して下さい。(病気ごとに1枚) 薬の処方方は朝晩を基本にさせていただきますが、やむを得ず保育園に持参する場合は、飲み薬(粉・顆粒・錠剤・シロップ等)は必要分だけ保育園へ持ってくるようお願いいたします。  
※ 与薬依頼申請書の提出がない場合、薬に関して対応できない場合があります。  
※ 申請用紙等は事務所にあります。
- 当園では医師の指示のもとで与薬を行うよう定められているため、かぜ薬等市販薬は保育園での服用をお断りしております。

## 伝染病にかかったとき

- 病院で伝染病予防法にある法定伝染病と診断された場合は医師の許可があるまで登園することができません。その他、学校保健法により登園を停止されている病気等を次項の表に示しております。参考にして頂き登園の目安にしてください。なお、登園するには治癒証明書が必要です。
- 治癒証明書は病院の指示を保護者が記入して下さい。(病院の診断書ではありません)  
※ 証明書は事務所にあります。
- 伝染力の強い病気は休園させて他の園児への感染を防ぐとともに、ご家庭での休養と回復に努めて下さい。
- 病気の回復期に保育が必要な場合には、乳幼児健康支援一時預かり保育(病児保育)を参考にして下さい。(石丸小児科・天山病院)

	病院名	住所	電話
病児保育 (令和6年度より開始予定)	高木保育園	松山市高木町 252	☎ 979-0172
病児保育(送迎可)	石丸小児科	松山市三番町 6-5-1	☎ 921-2918
病児保育(送迎可)	天山病院	松山市天山二丁目 3-30	☎ 946-1555
病児保育	三葉病児園	松山市山西街 542-1	☎ 952-1777
嘱託医(歯科)	木原歯科医院	松山市山越 5-16-10	☎ 925-0180
嘱託医(外科内科)	岡本外科整形外科	松山市高木町 255-1	☎ 978-2282

- 保育園で流行している病気がある場合は掲示板にてお知らせします。

## 登園してはいけない病気

登園するには治癒証明書が必要です。  
(証明書は保護者責任のもと医師の診断を保護者の方が記入したもので構いません)

詳細内容は  
ホームページでも  
ご確認ください



病名	感染しやすい期間	登園のめやす
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	発症2日前から	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで(学校保健安全法施行規則基準)その他医師の指示に従う
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては、3日を経過するまで)
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核	-	医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症 (O157、O26、O111等)	-	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1~2週間、便から数週間~数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	-	医師により感染の恐れがないと認めるまで
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24~48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮化してから
突発性発しん	-	解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと